

川歩き 水の感触や投網も楽しく

長浜市中心市街地を流れる米川を遊び場に川歩きや投網体験などを楽しむ「米川まつり」が3日、長浜市元浜町の曳山博物館ひろばと、周辺の米川であった。多くの親子連れらが川に入り、水の感触を楽しんだ。

米川には、かつて住民が川で野菜や食器を洗うために使った階段「かわど」が残っている。親子連れらはかわどを下りて、足を水に浸し、ゆっくりと流れに逆らって歩いた。川の生きものを捕まえたり、小型の網を投げたりもし

長浜で「米川まつり」

た。

まつりには市内の長浜バイオ大学の学生、虎姫高校新聞部の生徒や、米川でフィールドワークをした県立大学生らも協力。川の微生物の顕微鏡観察やトチの実を使ったアクセサリー作り、川の中でのゲームやペットボトルのキャップを原料にしたマスコット作りのワークショップを担当した。

米川の浄化と米川・かわまちづくりを進める長浜まちなか地域づくり連合会が主催した。今回が4回目。

(松本芳孝)



川歩きを楽しむ親子連れら＝長浜市の米川で